

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	4-2203
研究課題名	国立公園の環境価値と利用者負担政策の評価手法開発に関する研究
研究実施期間	2022(令和4)年度～2024(令和6)年度
研究代表機関名	京都大学
研究代表者名	栗山 浩一

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

ビッグデータを用いて国立公園訪問者の行動分析を行うと共に、環境価値評価及び利用者負担の現地調査結果と併せて、国立公園の環境価値と利用者負担政策の評価手法の開発を行い、所期の成果をあげたと評価できる。とはいえ、得られた結果は、一般的な傾向の確認のようにも見うけられる。また、利用者負担政策の評価については、何らかの形でその導入に当たって配慮すべき事項を詳細に説明できるようなアウトプットが欲しい。ビジターセンター周辺の植生に関する結果については、自然植生である針葉樹から、広葉樹に切り替えるべきといった誤解が生じないような形で発信願いたい。また、近年注目されている外国人観光客の増加に対して、本研究成果からどのような提言ができるのかも示してほしい。今後、現在の国立公園が抱えている課題を明確にしたうえで、蓄積されたデータと構築されたモデルを用いて、課題の解決に役立つような分析や政策提言がなされることを期待する。